

## いきいき茨城ゆめ国体に出場して

林田 碧

今回初めて国体に出場させていただきました。大学からトライアスロンをはじめてまだまだ実力もなく未熟ですがせっかく国体に出る機会を得られたので長崎県に少しでも貢献できるよう頑張ろうと思ってのぞみました。

### レースについて

当日は思っていたよりも緊張していたが周りのサポートの方々から楽しんで、大丈夫などと声をかけていただいて自分らしく頑張ろうと心を落ち着かせてスタートに向かった。

### Swim 28:05

スイムが苦手なのでなるべく速く、集団についていけるところまでついていくことを目標にスタート。飛び込みでゴーグルが外れてしまいとりあえず落ち着いて付け直し前に見える集団に追いついた。そのまま集団についていき 1 周目を終えて 2 周目へ。集団についていってると思っていたらブイを回るころには中切れして人がいなくなっていて完全に戦略ミス。そのまま 3 人で泳ぎスイムアップ。予定より遅いことは言うまでもなくトランジのバイクの少なさを見ても一目瞭然だった。

### Bike 1:15:17

トランジを出て前の集団と 30 秒差と叫ばれて周りに人はいないしとりあえず行けるところまでいってみようと 1 人で漕ぐ。途中後ろからものすごいスピードで抜いてくる人がいたので後ろにつく。すぐに前に出てと言われたのでなんとか前が出るが向かい風区間できつい、先頭を代わってもらうもスピード感がすさまじく千切られてしまった。ここでついていけてたら前の集団に追いついてレース展開が変わっていたかもしれない。自分のバイク力のなさを痛感した。結果として 4 周目に後ろのバックに吸収されることになったし、なによりエリートレースとは思えないバイクラップがすべてを物語っていると思う。

### Run 44:43

ランはたれずに走って 42 分台を出すことを目標にしていた。いつも足が攣ってしまうので今回はひどくないことを願いながら走り始めピッチを上げる。走り出しは悪くなかったが 2 周目くらいから足が攣りかけて水をかけながら走るもペースが落ちてしまった。最後の 1 km くらいで少しペースを上げることができたが全体として全然走れてなかった。3 種目の中で一番自分の中で自信を持てる分野であったけどエリートレースでのランの弱さを実感することになった。

### Total 2:29:30

結果には決して満足はできていませんがエリートレースの経験が浅い自分にとってとてもいい経験になったことは間違いないです。大学の部活の一員として大会に出

るのと違って県の代表として大会に出るのは緊張もしますが地元長崎に恩返しできる機会が得られてとてもうれしかったです。今回は長崎に何も貢献できずに悔しいですがまた来年国体出場を目指して頑張りたいと思っています。今回の国体でお世話になった監督、サポートしてくださったコーチ本当にありがとうございました。一緒に頑張った選手のみなさん一緒に出場できて本当に良かったです、ありがとうございました。